



10月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和元年10月31日

地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

10月に研究所内で行った行事、作業等について簡単に紹介します。

ニンニクの植え付け

9月下旬から10月上旬にかけて、多くの農家圃場でニンニクの植え付け作業が行われていましたが、野菜研でも同様に作業を進めました。9月26日に新品種育成の圃場で植え付け作業を行い、専門技術向上研修に来ている3名の若手普及員も一緒に作業しました(下左写真)。

比較品種、育成系統のほかに、りん片の重さでも分け、消毒した後の種子りん片を1穴に1つずつ向きを揃え植え付けました。軽く指で押し込み、その後で約7cmの深さになるよう塩ビパイプで押し込み、その上から土をかけました。生育は順調に進んでいます(右写真)。



研修会等

10月21日に、県と全農あおもりの主催で、将来のナガイモ産地を牽引する担い手育成のための「ながいも担い手育成塾」の塾生と関係機関の方々を合わせ、計25名が当研究所を訪れました。当研究所では、多収生産技術試験等の試験圃場を説明しました。また、試験を始めたばかりではありますが、ドローンを使った生育診断の試験の説明と実際にドローンを飛ばして調査の状況を見てもらいました(下写真)。



10月2日に、県営農大大学校2学年の学生18名が来所して本年度2回目の当研究所での授業を行いました。授業内容は、野菜の病害虫についてでした、左写真は、被害を受けたニンニクから取り出してすぐの動いているイモグサレセンチュウを顕微鏡で観察しているところです。

ナガイモ原原種ハウス新築等工事

当研究所の敷地内にナガイモの原原種生産用の大型ガラスハウスの新築(右上写真)、既存ガラスハウスの改修、古いハウスの解体(右下写真)工事に着工しました。

新築は10月21日、解体は10月23日から始まっており、改修は11月上旬から始まる予定です。工事は、寒い中進められますが、3月中旬には終わる予定です。



連絡先: 野菜研究所
Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934
Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp